

一ノ二
一ノ三
一ノ四
一ノ五
一ノ六
一ノ七
一ノ八
一ノ九
一ノ十
一ノ十一
一ノ十二
一ノ十三
一ノ十四
一ノ十五
一ノ十六
一ノ十七
一ノ十八
一ノ十九
一ノ二十
一ノ二十一
一ノ二十二
一ノ二十三
一ノ二十四
一ノ二十五
一ノ二十六
一ノ二十七
一ノ二十八
一ノ二十九
一ノ三十
一ノ三十一
一ノ三十二
一ノ三十三
一ノ三十四
一ノ三十五
一ノ三十六
一ノ三十七
一ノ三十八
一ノ三十九
一ノ四十
一ノ四十一
一ノ四十二
一ノ四十三
一ノ四十四
一ノ四十五
一ノ四十六
一ノ四十七
一ノ四十八
一ノ四十九
一ノ五十
一ノ五十一
一ノ五十二
一ノ五十三
一ノ五十四
一ノ五十五
一ノ五十六
一ノ五十七
一ノ五十八
一ノ五十九
一ノ六十
一ノ六十一
一ノ六十二
一ノ六十三
一ノ六十四
一ノ六十五
一ノ六十六
一ノ六十七
一ノ六十八
一ノ六十九
一ノ七十
一ノ七十一
一ノ七十二
一ノ七十三
一ノ七十四
一ノ七十五
一ノ七十六
一ノ七十七
一ノ七十八
一ノ七十九
一ノ八十
一ノ八十一
一ノ八十二
一ノ八十三
一ノ八十四
一ノ八十五
一ノ八十六
一ノ八十七
一ノ八十八
一ノ八十九
一ノ九十
一ノ九十一
一ノ九十二
一ノ九十三
一ノ九十四
一ノ九十五
一ノ九十六
一ノ九十七
一ノ九十八
一ノ九十九
一ノ百

朕組織法第四十一條ニ依リ參議府ノ諮詢ヲ經テ家畜交易市場法ヲ裁可
シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

康德二年 月 日

國務總理大臣
軍政部長大臣
實業部長大臣
蒙政部長大臣

勅令第 號

家畜交易市場法

第一條 本法ニ於テ家畜ト稱スルハ馬騾牛綿羊山羊豚及駱駝ヲ謂フ

第二條 家畜交易市場（以下單ニ市場ト稱ス）ハ公共團體又ハ命令ヲ以テ定ムル者ニ非ザレハ之ヲ開設スルコトヲ得ス

第三條 市場ヲ開設セントスル者ハ業務規程及事業計畫ニ關スル書類ヲ具シ監督官署ノ許可ヲ受クヘシ

業務規程又ハ事業計畫ヲ變更セントスルトキハ監督官署ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 公共團體ニ於テ常設市場ヲ開設スルトキハ監督官署ハ其ノ申

請ニ依リ主管部大臣ノ認可ヲ經テ必要ト認ムル區域内ノ私設市場ノ廢場ヲ命スルコトヲ得

第五條 前條ノ場合ニ於テハ公共團體ハ廢場ヲ命セラレタル私設市場ノ開設者ニ對シテ損失ヲ補償スヘシ

前項ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ監督官署ノ決定ヲ求ムヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ決定書ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内ニ法院ニ出訴スルコトヲ得

第六條 市場ニ於テハ其ノ場内又ハ附屬ノ場所ニ在ル家畜ニ非サレハ之ヲ賣買又ハ交換スルコトヲ得ス

第七條 監督官署ハ主管部大臣ノ認可ヲ經テ常設市場ニ付必要ト認ム

凡區域ヲ指定スルコトヲ得

前項ノ區域内ニ於テハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外當該市場ノ取扱ノ家畜ニ付市場ヲ開設スルコトヲ得ス

第八條 家畜ノ賣買交換又ハ其ノ周旋ヲ業トスル者ハ市場附近ノ區域内ニ於テ市場開場日及其ノ前後ノ期間中其ノ市場ノ取扱ヲ家畜ニ付賣買交換又ハ其ノ周旋ヲ爲スコトヲ得ス但シ命令ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ區域及期間ハ監督官署之ヲ指定ス

第九條 市場開設者ハ正當ノ事由ナクシテ其ノ市場ノ取扱ヲ家畜ノ入場又ハ場内ニ於ケル賣買若ハ交換ヲ拒ムコトヲ得ス

第十條 公共團體ハ其ノ開設スル市場ノ業務規程中ニ五十圓以下ノ過
怠金ニ關スル規程ヲ設クルコトヲ得

市場ニ於テ家畜ノ賣買又ハ交換ニ關スル行爲ヲ爲ス者ハ業務規程ヲ
知ラサルノ故ヲ以テ其ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第十一條 市場及其ノ附屬建築物ノ位置構造及設備、市場内ノ取引方
法、市場内ノ仲立業者及家畜宿業者ノ資格及營業、市場監督並ニ市
場ニ付家畜傳染病豫防其ノ他家畜衛生上必要ナル事項ニ關シテハ命
令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 監督官署必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ市場若ハ
其ノ附屬ノ場所ニ臨檢シ市場開設者仲立業者若ハ家畜宿業者ノ帳簿

書類其ノ他ノ物品ヲ検査シ、關係人ヲ訊問シ又ハ市場若ハ其ノ附屬
ノ場所ニ在ル家畜ヲ診斷シ若ハ其ノ移動ヲ停止セシムルコトヲ得

第十三條 市場ノ休場又ハ廢場ハ監督官署ノ認可ヲ受クヘシ市場開設
許可ノ際監督官署ノ指定シタル期間内ニ開場セサルトキ亦同シ

第十四條 監督官署ハ左ノ事由アルトキハ市場開設ノ許可ヲ取消シ又
ハ業務ヲ停止若ハ制限スルコトヲ得

- 一 市場開設者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ
- 二 市場ノ開設カ衛生上危害アリ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アリト認
ムルトキ

第十五條 許可ヲ受ケスシテ市場ヲ開設シタル者ハ六月以下ノ有期徒

刑又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 第三條第二項又ハ第十三條ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 第六條若ハ第九條ニ違反シタル者又ハ第十四條ノ規定ニ依ル停止若ハ制限ノ處分ニ服セサル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 第八條ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 前條ノ罪ヲ犯ス目的ヲ以テ第八條第二項ノ規定ニ依リ監督官署ノ指定シタル區域及期間内ニ於テ家畜店又ハ家畜宿ニ馬騾又ハ牛ヲ繫留シタル者ハ拘役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス情ヲ知リテ馬騾又ハ牛ヲ繫留セシメタル家畜店業者又ハ家畜宿業者亦同シ

第二十條 第十二條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ職務執行ヲ阻障シ其ノ訊問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者又ハ同條ノ規定ニ依ル家畜移動禁止ノ命令ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條 使用人其ノ他ノ従業員ニシテ其ノ使用主ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ罰則ニ觸ルル行爲ヲ爲シタルトキハ該行爲者ヲ罰スルノ外其ノ使用主ヲモ罰ス

第二十二條 家畜ニ關スル營業者、營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セサル未成年者又ハ心神喪失者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ其ノ法定代理人ニ適用

ス

第二十三條 法人ノ使用人其ノ他ノ従業員ニシテ法人ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ罰則ニ觸ルル行爲ヲ爲シタルトキハ該行爲者ヲ罰スルノ外業務ヲ執行スル役員又ハ社員ヲモ罰ス
法人ノ業務ヲ執行スル役員又ハ社員前項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ役員又ハ社員ヲ罰ス

第二十四條 第二十一條又ハ前條第一項ノ場合ニ於テ使用主又ハ役員若ハ社員カ當該違反行爲ヲ防止スル途ナカリシコトヲ證明シタルトキハ之ヲ罰セス

第二十五條 本法ニ於テ監督官署ト稱スルハ省長、北滿特別區長官又

ハ特別市長ヲ謂ヒ特別市ノ開設スル市場ニ付テハ主管部大臣ヲ謂フ
第二十六條 本法ハ帝室政府及地方行政官署ノ行フ家畜ノ賣買又ハ交換ニ之ヲ適用セス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際現ニ公共團體ノ開設スル市場ハ本法ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス但シ其ノ業務規程又ハ事業計畫中本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スルモノアルトキハ命令ノ定ムル期間中ニ之ヲ變更シ監督官署ノ認可ヲ受クベシ

家畜交易市場法制定理由書

家畜ノ賣買及其ノ公正ナル價格ノ成立ヲ容易ナラシメ、家畜店業者家畜
畜業者及家畜仲立業者等ノ不正行爲ヲ抑壓シ以テ家畜ノ賣主及買主
ノ利益ヲ擁護シ、併セテ家畜衛生ノ取締リ及公衆衛生ノ向上ニ資セ
カ爲家畜交易市場ヲ取締ルノ要アリ

右ニ依リ本案ヲ提出ス